

Fujitsu Software

システムウォーカー

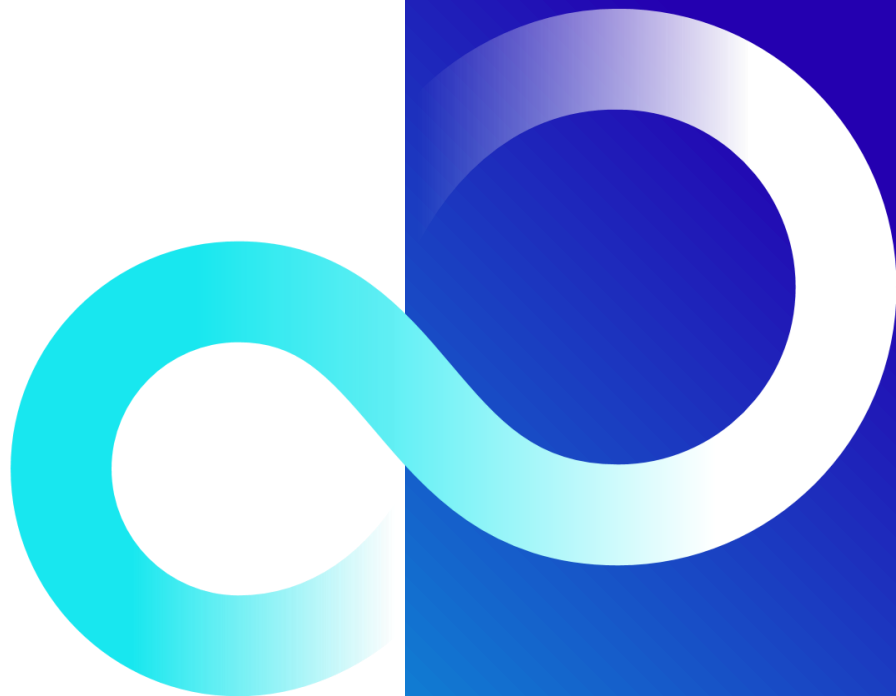
Systemwalker

サービス クオリティ コーディネーター

Service Quality

Coodinator

FUJITSU



パフォーマンス分析、
キャパシティ管理ソフトウェア

業務サービス品質から仮想リソースまでを可視化・分析し、ICTシステム全体の維持・最適化を支援します。

こんな課題ありませんか？

ICTシステムの稼働状況が把握できない

- ・エンドユーザからみたサービス品質を把握したい
- ・業務のスループットがみたい
- ・定期的な運用報告を行いたい

業務のサービス品質を
可視化

ICTシステムの性能劣化が原因で大きなトラブルに

- ・レスポンス低下を把握し、対策をとりたい
- ・業務遅延の原因、ボトルネック箇所をすばやく特定し、復旧したい
- ・問題発生前後の調査情報がほしい

監視と
ドリルダウンで
サービスレベルを維持

ICTシステムの投資計画が難しい

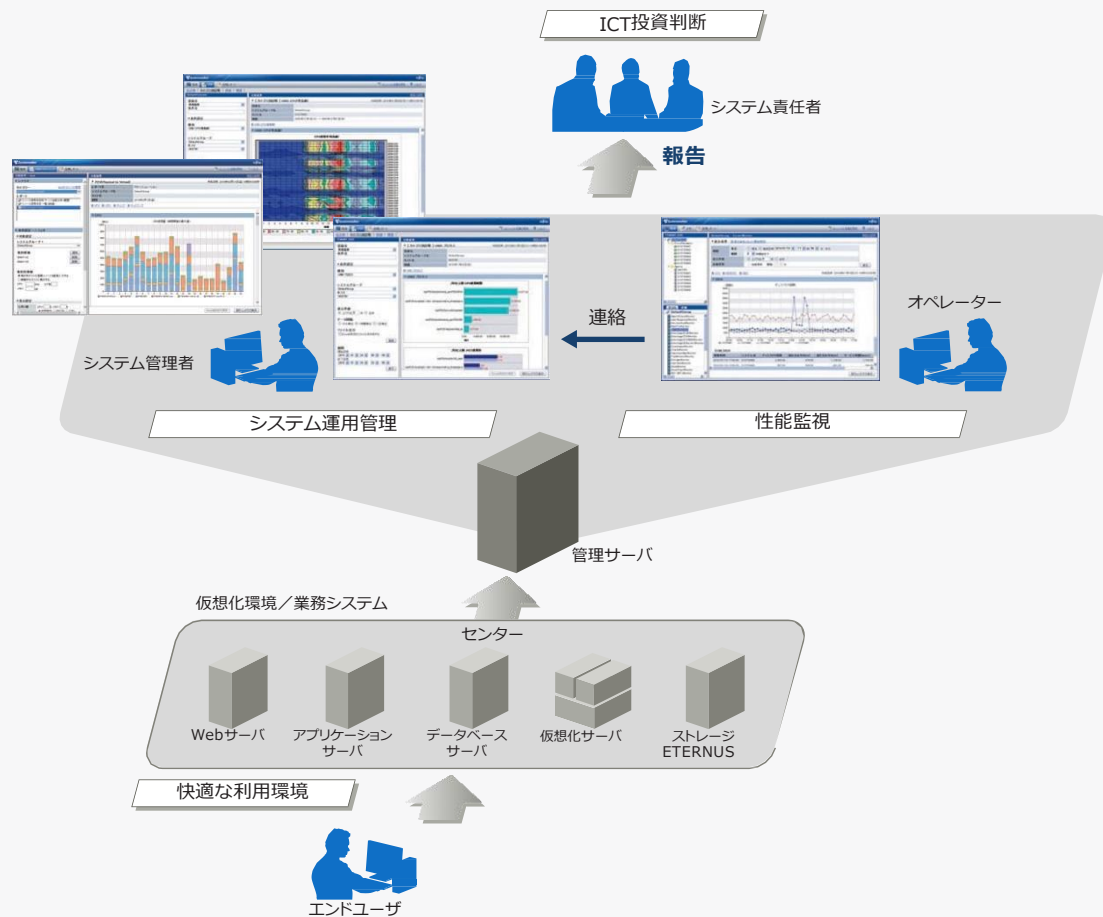
- ・需要予測に基づいて効果的なキャパシティプランニングを実施したい
- ・サーバをスケールアウトした場合に得られる効果の裏付けが欲しい

分析と予測に基づく
投資の最適化

Check!

- ・インストール直後からシステム構成を自動的に把握し、必要な性能情報の収集を開始します(スマートセットアップ)。性能分析の専門知識がなくても簡単に導入できます。
- ・富士通が長年培った豊富なシステム構築・運用ノウハウを結集した分析レポートを提供します。チューニングのためのガイダンスとして利用することで、ICTシステムを最適化することができます。

適用イメージ



- 様々な視点や切り口で、業務サービス品質を可視化します。
 エンドユーザの体感レスポンス、ICTシステム全体のレスポンスやスループット情報、業務アプリケーション固有の情報を、様々な観点で比較し傾向を参照できます。
 - ・システム責任者向けの運用報告資料
 - ・システム管理者向けの稼働情報、トラブルシューティング情報、キャパシティ管理情報
- リアルタイムでのモニタリングや問題発生時の問題切り分けにより、システムの可用性維持を支援します。
- 物理サーバ、仮想化サーバ、ストレージ、ミドルウェアの各種性能情報を収集・蓄積します。これらの情報からボトルネック診断、将来予測、シミュレーションなど富士通のノウハウに基づいた分析を行うことができます。

*物理/仮想化サーバの情報収集は、エージェント機能をインストールする方式とマネージャーからリモート収集する方式(インストールレス方式)が選択可能です。インストールレス方式では、稼働中システムへの導入コスト、パッチ適用などの保守コストを低減します。

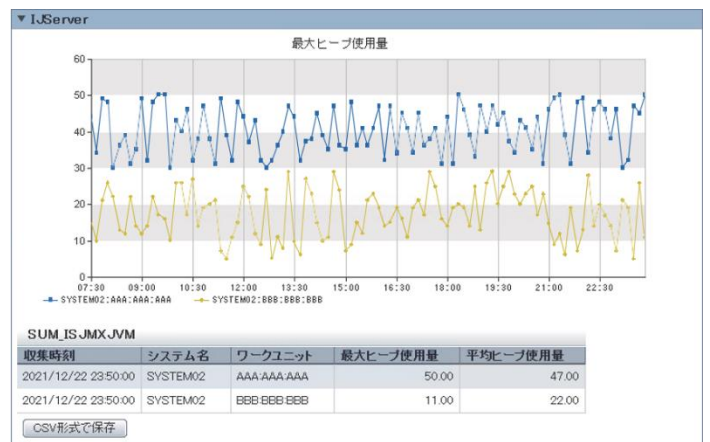
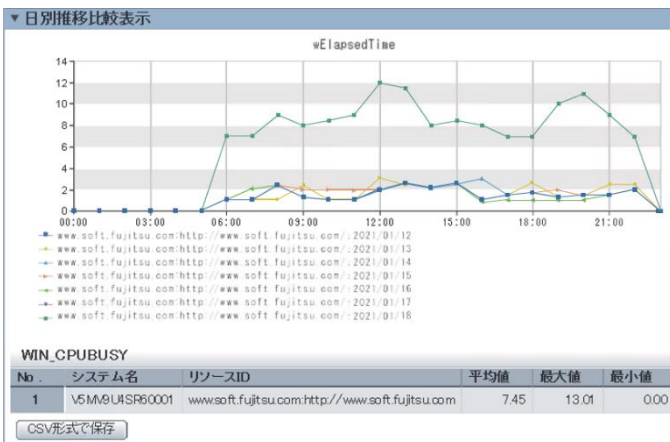
業務のサービス品質を可視化

ICTシステムがエンドユーザに提供している業務のサービス品質を可視化します。業務サービスを構成するサーバのリソース(CPU、メモリ、ディスクなど)や、ミドルウェア(Fujitsu Software Interstage、Fujitsu Software Enterprise Application Platform、Fujitsu Software Symfoware、Fujitsu Enterprise Postgres、Oracle Database、Microsoft SQLなど)の稼働状況 なども一元管理できます。

ICTシステムの状況をリアルタイムに可視化

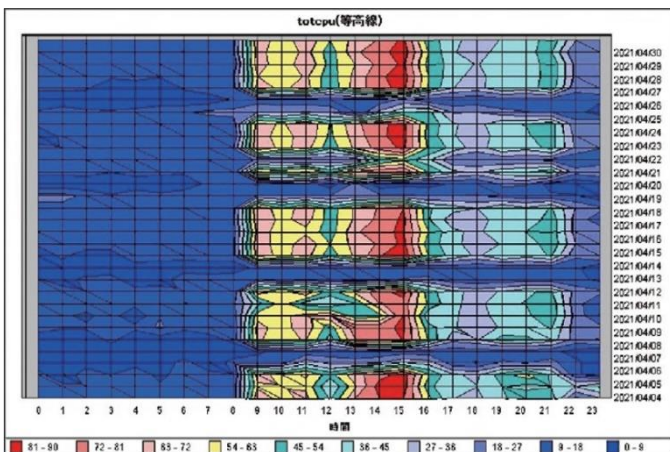
・**エンドユーザの操作結果が表示されるまでの所要時間の日ごと推移**
 エンドユーザがWebにアクセスした時の、「最近レスポンスが悪くなった」とか、「特定の曜日・時間帯に表示が遅い」などの体感応答時間をグラフで裏付けることができます。システム増強の判断材料に活用できます。

・**Javaアプリケーションの最大ヒープ(作業用メモリ領域)使用量の時間推移**
 ヒープメモリの使用状況を確認します。想定外に増え続ける場合は、メモリリークを疑います。



・CPU使用率の等高線グラフ

1か月程度の長期にわたるCPU使用率の高低を、等高線によって表現します。CPU使用率の偏りやピークを視覚的に捉えることが可能です。

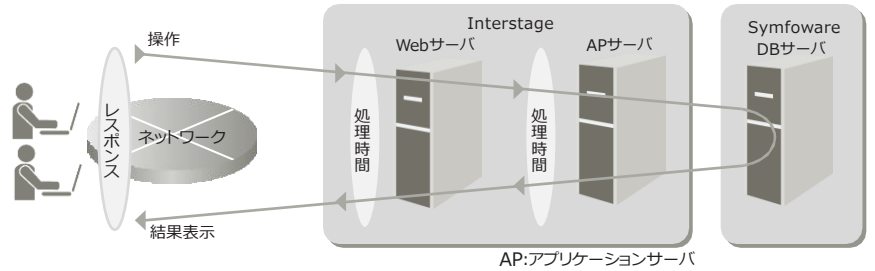


監視とドリルダウンによりサービスレベルを維持

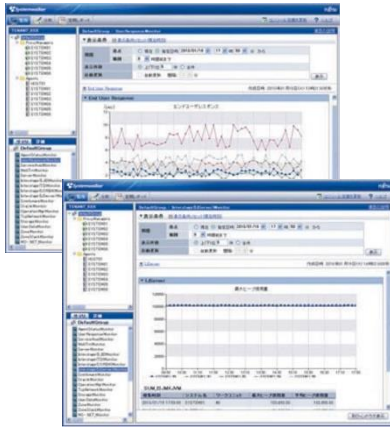
サービスレベルの低下を検出すると、管理者にアラームが通知されます。管理者は、トラブル発生内容を確認し、ドリルダウン操作によって問題箇所を特定することができます。問題箇所が特定されることで、迅速かつ適切な復旧処置方法の判断が容易になり、サービスレベルを維持できます。

レスポンス監視とボトルネック分析

エンドユーザ、Webサーバ、APサーバ、DBサーバの各層でのレスポンスや各種性能パラメータを監視したり、その推移をモニタ表示できます。レスポンス低下時には、ドリルダウンによりボトルネック箇所を特定できます。



ユーザーレスポンス



一連の処理の流れの各ポイントからデータ(処理時間)を集約。
レスポンスが遅いトランザクションを抽出して、その処理内訳からボトルネック箇所を検索。

収集時刻	システム名	リソースID	resptime	blocktim
2021/12/22 12:50:00	SYSTEM02	WU001:1(2584):EJBContainer.Blue.business()	491.00	351.00
2021/12/22 13:00:00	SYSTEM02	WU001:1(2584):EJBContainer.Blue.create()	2294.00	300.00
2021/12/22 13:10:00	SYSTEM02	WU001:1(2584):EJBContainer.Blue.remove()	0.00	0.00
2021/12/22 13:20:00	SYSTEM02	WU001:1(2584):EJBContainer.Red.business(color.Args)	10.00	10.00
2021/12/22 13:30:00	SYSTEM02	WU001:1(2584):EJBContainer.Red.create(color.Args)	20.00	20.00
2021/12/22 13:40:00	SYSTEM02	WU001:1(2584):EJBContainer.Red.remove()	0.00	0.00
2021/12/22 13:50:00	SYSTEM02	WU001:1(2584):EJBContainer.White.business(color.Args)	20.00	20.00
2021/12/22 14:00:00	SYSTEM02	WU001:1(2584):EJBContainer.White.create(color.Args)	20.00	20.00
2021/12/22 14:10:00	SYSTEM02	WU001:1(2584):EJBContainer.White.remove()	20.00	20.00

トランザクション発生時に、処理区切りごとのレスポンスを計測
各処理単位ごとの処理時間や別の処理を呼び出す時間から、ボトルネック箇所を特定

分析と予測に基づく投資の最適化

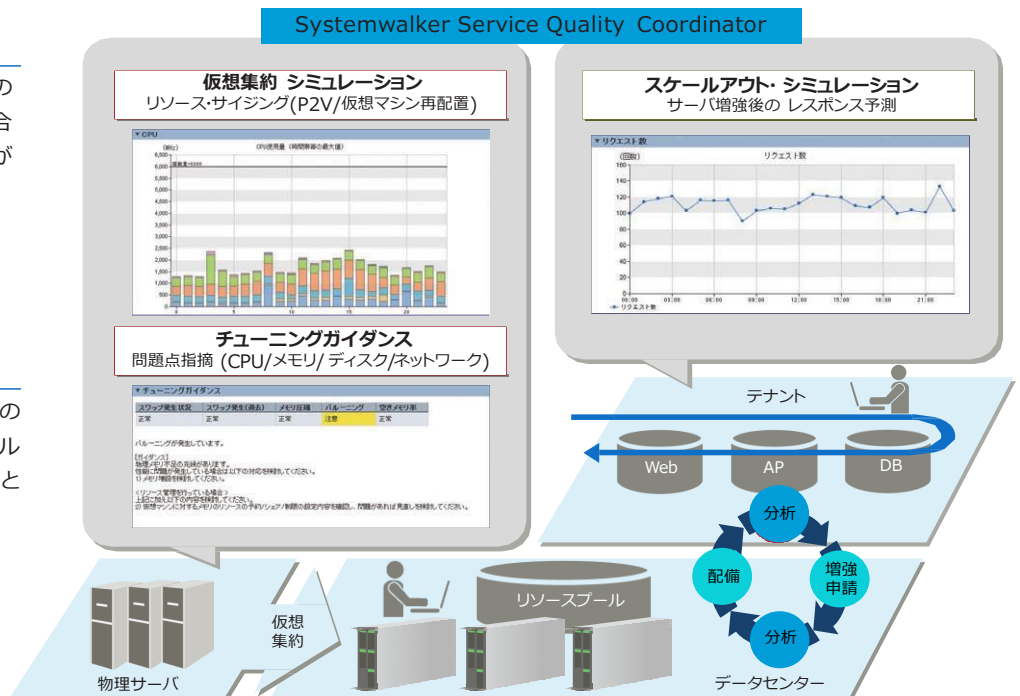
クラウドサービスの提供者と利用者双方の視点でキャパシティ管理を支援します。シミュレーションやチューニングガイダンスなどの分析機能により、仮想リソースを効率的に活用し、投資判断を的確に行うことができます。

集約・増強効果をシミュレーション

シミュレーション機能では、仮想サーバへの集約影響、再配置効果、スケールアウトした場合のレスポンス予測などを事前に確認することができます。

ボトルネック分析

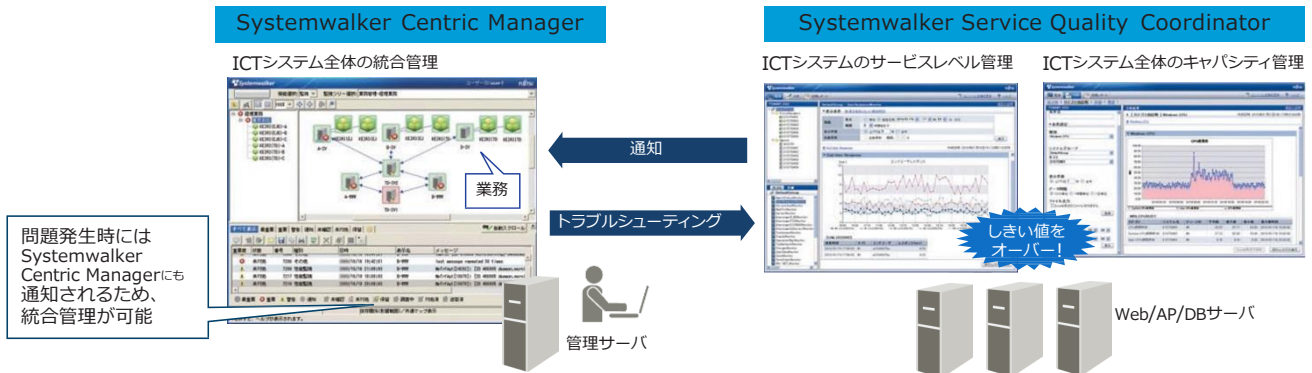
チューニングガイダンスでは、富士通のチューニング技術に基づいてリソースのボトルネック状況を発見し、対処方法を提示することができます。



パフォーマンス分析、キャパシティ管理ソリューション

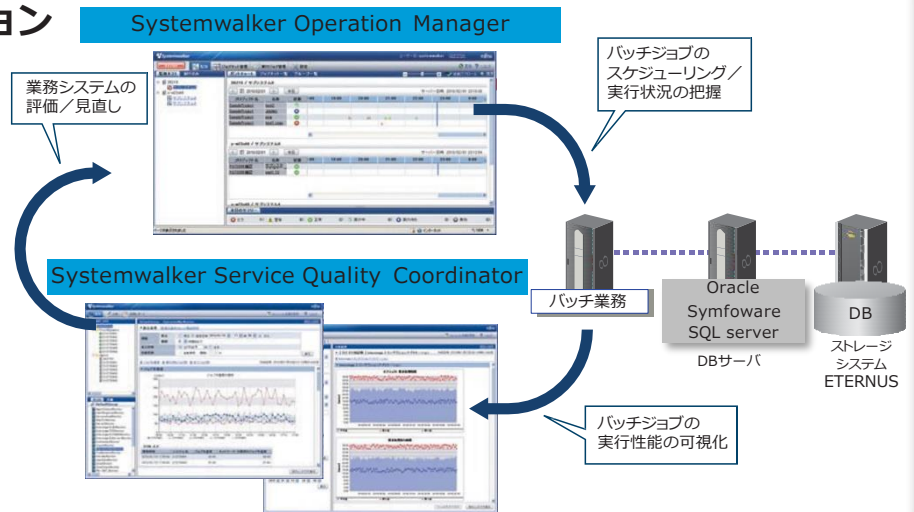
統合システム運用管理ソリューション

Fujitsu Software Systemwalker Centric Managerとの組み合わせにより統合システム運用管理ソリューションを提供します。Fujitsu Software Systemwalker Service Quality Coordinatorのしきい値監視により可用性維持や、ICTシステムのサービスレベル管理、ICTシステム全体のキャパシティ管理などを実現できます。



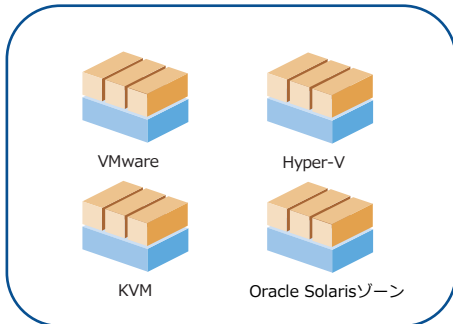
基幹バッチ業務ソリューション

Fujitsu Software Systemwalker Operation Managerによるバッチジョブの実行状況とバッチサーバやDBサーバの負荷状況の相関関係を Systemwalker Service Quality Coordinatorで可視化・分析できます。これらのリソース利用状況の分析結果を基に、バッチジョブの起動時間の調整、実行多重度の変更などのチューニングが可能となります。バッチ業務の的確なスケジューリングと安定稼働を強力に支援します。



仮想化/クラウド環境の管理ソリューション

複数の仮想化/クラウド環境(VMware、Hyper-V、KVM(Kernel-based Virtual Machine)、Oracle Solarisゾーンなど)に対して、ハイパーバイザー/仮想ホストとVMゲストのリソース状況を収集することで、統一した操作で監視やレポート出力ができます。



環境ごとに
自動出力

Systemwalker Service Quality Coordinator

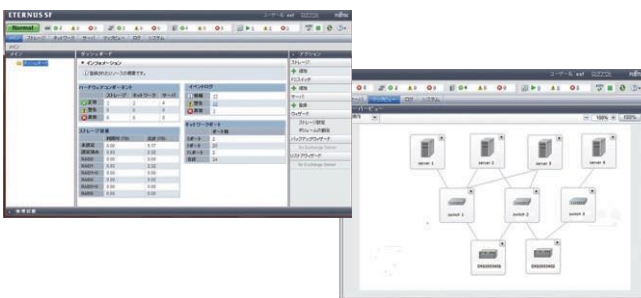


利用状況・診断レポート

ETERNUS (エターナス)を使用したストレージソリューション

ストレージシステムの運用を行うには、コントローラーのビジー率、RAIDのレスポンスタイムなどのディスク性能の把握、DB自体のアクセス量や処理性能の把握が不可欠です。Systemwalker Service Quality Coordinatorは、これらの性能情報をすべて一元的に管理でき、ETERNUS SF Storage Cruiserと共に、統合ストレージ運用を支援します。

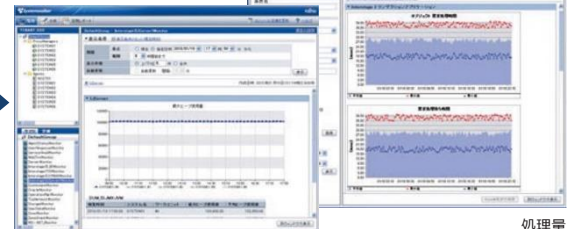
ETERNUS SF Storage Cruiser



性能を可視化

Systemwalker Service Quality Coordinator

RAIDのレスポンスタイム



処理量

製品体系

カテゴリ	製品名	機能概要	
統合運用管理	性能監視・可視化	Fujitsu Software Systemwalker Service Quality Coordinator	パフォーマンス分析、キャパシティ管理ソフトウェア

動作環境

※最新の情報は、ホームページをご確認ください。

製品名	サーバ動作OS	クライアント動作OS
Systemwalker Service Quality Coordinator	Microsoft® Windows Server® 2022 Microsoft® Windows Server® 2019 Microsoft® Windows Server® 2016 Oracle Solaris 11 Red Hat Enterprise Linux 9 Red Hat Enterprise Linux 8 Red Hat Enterprise Linux 7	Windows® 11 Windows® 10 Microsoft® Windows Server® 2022 *1 Microsoft® Windows Server® 2019 *1 Microsoft® Windows Server® 2016 *1

*1:運用管理クライアントに対応

クラウド環境

※最新の情報は、ホームページをご確認ください。

対応クラウド環境 (Windows/Linux)	FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-ベアメタル FUJITSU Hybrid IT Service for AWS FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure Amazon Web Services Microsoft Azure Oracle Cloud Infrastructure
対応クラウド環境 (Solaris)	FUJITSU Cloud Service for SPARC

* Agent for Virtual Environment/Browser Agentについては、クラウド環境はサポート対象外

関連製品

※最新の情報は、ホームページをご確認ください。

機能体系	製品名・機能名
アプリケーションサーバ	Fujitsu Software Enterprise Application Platform Fujitsu Software Interstage Application Server Fujitsu Software Interstage Business Application Server Microsoft .NET Framework (Microsoft .NET Server)
データベースサーバ	Fujitsu Software Symfoware Server Oracle Database Server Microsoft® SQL Server Fujitsu Enterprise Postgres PostgreSQL
運用管理	Fujitsu Software Systemwalker Centric Manager Fujitsu Software Systemwalker Operation Manager
ストレージ管理	ETERNUS SF Storage Cruiser
アプリケーション性能管理	CA APM 10
超高速データ管理ソフトウェア	Fujitsu Software Primesoft Server
仮想化機能	VMware ESXi™ / VMware vCenter Server® Appliance™ Hyper-V Linux仮想マシン機能 (KVM) Oracle Solarisゾーン

サービス&サポート

FUJITSU Managed Infrastructure Service SupportDesk	ハードウェアの点検修理やソフトウェアのトラブル/Q & Aに専門スタッフが迅速に対応し、オープンシステムの安定稼働を強力に支援します。
ミドルウェア移行支援	現在お使いの他社製品から富士通製ミドルウェアに安心して移行していただくために、ミドルウェアのプロフェッショナルが移行のための支援を行います。

環境への取り組み

<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/>



環境貢献ソリューション

Fujitsu Software Systemwalker Service Quality Coordinator

* Microsoft, Windowsは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

* Oracle Solaris はSolaris, Solaris Operating System, Solaris OS と記載することがあります。

* Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

* 文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

* 本資料に記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示 (TM、®) を付記していません。

■ このカタログに掲載されている内容については、改善などのため予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。

■ このカタログは、FSC® 森林認証紙、植物油インキ、有害な廃液を出さない氷なし印刷方式を採用しています。

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン

0120-933-200

受付時間 9:00~12:00 および 13:00~17:30 (土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く)

富士通株式会社

<https://www.fujitsu.com/jp/software/systemwalker/sqc/>

CZ4251-19-2024年3月

© 2024 Fujitsu Limited